

一般社団法人レギュラトリーサイエンス学会 社員(評議員)選挙 立候補者一覧(五十音順)

	氏名	所属	立候補所信
1	荒川 義弘	筑波大学	(記載無し)
2	宇津 忍	医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団	(記載無し)
3	沖山 翔	筑波大学 医学医療系 デジタルヘルス分野	これまで、産/官/学(スタートアップ/AMED委員/大学)のそれぞれの立場から、レギュラトリーサイエンスの研究・発表と、また、それを経た社会実装を行ってまいりました。学会と学術界の発展のため、微力を尽くしたいと存じます。
4	小林 江梨子	城西国際大学	レギュラトリーサイエンスの発展に精進いたします。
5	近藤 昌夫	大阪大学 薬学研究科 医薬品・医療機器規制科学分野	レギュラトリーサイエンス学会の活動に少しでも貢献できるよう、最善を尽くしてまいります。どうぞ宜しくお願い致します。
6	齋藤 充生	NPOヘルスヴィジランス研究会	微力ながらレギュラトリーサイエンス研究、実践に励みたいと思います。よろしく願いいたします。
7	齋藤 嘉朗	国立医薬品食品衛生研究所 所長	国立衛研入所時、内山副所長より、レギュラトリーサイエンスの考え方をご教示いただきました。長年、医薬品の副作用、バイオマーカー、新規モダリティ医薬品等に関し、ウェットとドライの両面から研究を行って参りましたが、本学会としてもこの両面の融合に基づく、行政施策の方向性提案が重要と考えます。また産学官の意見交換の場として本学会は重要です。本学会の興隆に微力ながら貢献致したく、立候補させていただきます。
8	佐藤 光利	明治薬科大学	医薬品の品質保証および安全性に関するレギュレーションならびにレギュラトリーサイエンスの普及と発展に寄与する。
9	佐藤 陽治	国立医薬品食品衛生研究所	これまで私は、主に再生医療等製品の品質評価のための試験法開発研究(レギュラトリーサイエンス)に従事して参りました。また、ICH Q5A(R2)のトピックリーダーや厚生労働省薬事審議会委員も務めております。社員にご選任いただけましたら、再生医療等製品などの新しい医薬モダリティの品質確保のための活発な議論を、世界に先駆けて会員の皆様方と展開してまいりたいと存じます。よろしく願いいたします。
10	下川 昌文	山陽小野田市 山口理科大学薬学部	(記載無し)
11	鈴木 啓介	国立長寿医療研究センター 先端医療開発推進センター	認知症や神経難病の治験/臨床研究などに関与してきた経験を活かして、本邦におけるレギュラトリーサイエンスの発展に寄与できればと考えております。どうぞ宜しくお願いいたします。
12	鈴木 睦	協和キリン株式会社	業界団体の一員として非臨床領域におけるレギュラトリー振興にご協力させていただければと思います。
13	田邊 思帆里	国立医薬品食品衛生研究所	レギュラトリーサイエンスの発展に貢献したいと思います。
14	谷澤 公彦	日本製薬工業協会 医薬品評価委員会・第一三共株式会社	産業界の立場から実装可能なレギュラトリーサイエンスを推進すること、開発現場の知見を活かして合理的評価と国際整合を図るとともに、次世代人材育成を通じて貢献する所存です。

15	田村 学	東京女子医科大学・早稲田大学 共同大学院 共同先端生命医科学専攻	東京女子医科大学大学院において、レギュラトリーサイエンス教育を早稲田大学と共同実施すると共に学位(生命医科学)を適正に授与する立場にあります。特に規格・標準化・ユーザビリティ等を適正に考慮した医療機器開発を積極的に行い、早期社会還元及び継続的安全管理を目標としています。経済産業省技官出向経験を活かし医師主導治験(医薬品開発)・医療機器開発 をバランス良く推進した学会活動に貢献したいと考えております。
16	永井 純正	京都大学医学部附属病院 医療開発部	2016年より本学会の評議員を、2024年より本学会の編集委員会委員を務めています。
17	中江 大	帝京平成大学 健康医療スポーツ学部医療スポーツ学科	機会を与えていただければ、経験と専門性を生かして、一般社団法人レギュラトリーサイエンス学会の活動に貢献したいと考えます。
18	中野 恭嗣	日本製薬工業協会 薬事委員会/塩野義製薬株式会社	最新の薬事制度改革に対し、業界を代表する立場から意見を発信し、レギュラトリーサイエンスの発展に貢献したいと考えております。何卒宜しくお願い申し上げます。
19	成川 衛	北里大学/医薬品医療機器総合機構	レギュラトリーサイエンスの発展に向けて努力いたします。
20	前田 英紀	明治薬科大学	レギュラトリーサイエンスの推進及び普及に貢献したいと考えています。
21	益山 光一	東京薬科大学	レギュラトリーサイエンスの振興に少しでも貢献できるようがんばります。
22	松田 勉	興和株式会社	(記載無し)
23	松村 一	東京医科大学 形成外科学分野	臨床医師、アカデミアの一員として、本邦でのレギュラトリーサイエンスの発展に寄与していきたいと思いません。学会の適切な運営に務めるとともに、会員の皆様方のご意見にも真摯に耳を傾けて行きたいと思いません。
24	間宮 弘晃	立命館大学	レギュラトリーサイエンスの推進に貢献できるよう尽力いたします。
25	水口 裕之	大阪大学大学院薬学研究科	微力ながら本学会に貢献したいと思います。よろしく申し上げます。
26	宮武 祐樹	日本イーライリリー株式会社	初めまして、宮武と申します。厚生労働省勤務後、現在は企業にてレギュラトリーサイエンス業務に従事しています。まだまだ未熟ではございますが、本学会を通し、産学官の懸け橋となれるよう尽力して参りたいと存じます。
27	山田 雅信	筑波大学 つくば臨床医学研究開発機構	これまでの行政機関での経験と、大学AROでの実務経験をふまえて、レギュラトリーサイエンス学会の活動に貢献したいと思います。
28	若尾 りか	東京理科大学 薬学部	レギュラトリーサイエンス研究の振興を担う貴学会の活動に貢献したいと考え、立候補します。
29	渡邊 伸一	帝京平成大学	(記載無し)

以上